



連協道路ニュース

発行 横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会 事務局
Tel 045-893-4877 <http://renkyoueditor.web.fc2.com/>
Mail: renkyoueditor@mail.goo.ne.jp

第267号

(創刊 1988.12.14)

2011.12.04

第23回統一パレード・集会開催

統一パレード・集会も第23回を迎え、11月23日(祭)例年の如く天候に恵まれる中、226名の参加を得て盛大に行われ、高速横環南線反対のアピールと団結を誓った。

パレードはAコース(本郷台駅前)、Bコース(神戸橋遊水地前)から本郷台グリーンテラス前の桂台第五公園集会場まで、各コースとも一時間のパレードである。

「高速横環南線反対!」「環境破壊を許すな!」「田谷の農地を守れ!」「住民は怒っているぞ!」「震災復興を優先しろ!」「ムダな公共事業反対!」等々のシュプレヒコールを繰り返し沿道地域の皆さまにアピールした。

集会場では松平晃トランペッターの演奏に始まり、主催者挨拶(連協、庄戸四町合同委員会、新設道路反対委員会、原宿の環境を守る会の4団体)、グリーンテラス本郷台会長の挨拶が行われ、夫々横環南線の承服しがたい問題提起と反対への堅い意思表示がなされた。

来賓として長島一由衆院議員秘書の龍野裕香嬢、横浜市会の岩崎ひろし議員(戸塚区)、井上さくら議員(神奈川区)からご挨拶を頂きました。他の多くの地元議員は集会案内にも梨の礫であったことを報告しておきたい。

友誼団体から圏央道高尾から天狗を含む6名の大勢、東京外環、千葉外環、東京三鷹、横浜湘南道路等道路反対各団体からも、タイアップして無駄で不要不急の道路反対を求めて行こうとのご挨拶を頂き、政官財や御用学者集団の住民をないがしろにする勢力の道路政策の打破を改めて誓った。

全員での「ふるさと」合唱、パレード・集会宣言の採択、シュプレヒコールを行い、集会を終えた。

今後も横環南線の抜本の見直しを求めて団結して行きましょう。(長谷川事務局長)

第23回統一パレード・集会宣言

私たちはあの3月11日の東日本大震災を忘れません。東北の被災地の復旧・復興なくして日本の将来はありません。今なお多くの被災者が苦しみ不慣れた生活を送っています。又見えない放射能に多くの国民が不安を抱えています。

この様な状況の中、20年以上前のバブル期に計画された時代に合わない横浜環状道路南線の本年度の予算は5%カットして震災復興費回すと言いながら、そのまま見直されることなく使われています。私たちは4,300億円の横浜環状道路南線の建設費を東北の復興に回す事を提案し政府に要求しています。

環状4号線の渋滞解消が横浜環状道路南線の大きな看板となっていますが、原宿交差点の立体化と拡幅整備により渋滞は解消されています。横浜環状道路南線の少ない経済効果は事業者が如何に作文しても下がる一方です。排気ガス予測でも、事業者は旧式のブルーム・パフモデルに固執していますが、3次元流体モデルによる予測では、環境基準を守れない事は確実です。

B/Cでも公害問題でも行き詰まった事業者は高速道路が災害復旧に役立つなどと筋違いのキャンペーンを繰り広げ始めました。盛り土で形成された住宅密集地の真下に巨大なトンネルを掘って作る横浜環状道路南線は地盤沈下、地滑りによる災害を大きくする危険な道路です。安全神話にはもう騙されません。

来年は3回目の事業再評価があります。私たちは横浜環状道路南線の経済評価の破綻、大気汚染公害、環境破壊等の危険性を改めて訴えて行きます。不要不急で有害な公共事業は許しません。住民無視の建設は許しません。

緑豊かな円海山の自然を守ります。美しい田谷の農地を守ります。これ以上、負の遺産を子供たちに残すわけにはいきません。

横浜環状道路南線の建設計画が白紙撤回を含む抜本の見直しになるまで頑張りましょう。

子供たちの未来のために!

高らかに宣言します。

道路全国集会・千葉市川市



去る11月5,6日に第37回目の道路全国連交流集会在開催された。40団体から130人が千葉商科大学に集い活発な討論と発表が行われた。連協からも7人が2日にわたり参加。弁護士会の有志

が現状の「道路建設ありき」の法体系を憂い、この12月に向けて公共事業改革法案を準備中であり、法に基づく運動を展開している連協からもその事例として横環南問題を比留間から報告した。

前原政調会長に訴え



11月23日パレードの夜、前国土交通委員の三村和也議員の集會に参加した。そこに出席した前原政調会長と懇談し、

横環南の問題点を訴えた。政策仕分けで造り過ぎた港問題、道路については更新、補修が急務であることが話題であったと報告し理解を求めた。「選択と集中」で検討しますとの模範解答で終始した。当夜集まった神奈川県、横浜市選出の民主党議員7人ほどにも横環南を改めて印象付けた。

住民訴訟スタート！

栄区による「不当なやらせアンケート」を糾弾する訴訟が、11月21日横浜地裁502号法廷で開催された。48人の傍聴席がほぼ満席のうちに第1回の尋問が行われた。今回は手続き論のみで閉廷し、次回は1月16日(月)13:45に同じ法廷で開催される。

次回は裁判長に横環南に問題意識を持ってもらうべく全席連協で満員となる位の傍聴をお願いしたい。

提言型政策仕分けを傍聴

前政権の事業仕分けに引き続き野田政権の目玉である提言型政策仕分けが来期予算に向

けて国民公開のもと、11月22日から4日間主要な政策について池袋サンシャインで開催され公共事業の部を傍聴した。国交省の局長がタジタジとなる厳しい質問が飛び交い「公共事業について、現状では持続可能性がない。新規投資は厳しく抑制し、説明責任を果たすべき」との結論を得た。「選択と集中」がキーワードとなり今後、法的の縛りのないこの提言の進め方を我々国民がチェックし続けなければならない。(会長比留間)

公害調停委員による現地見学会

第1回の調停で連協からの提案を受け入れ、現地見学を先行させることとなった。12月9日(金)13:00から庄戸コミュニティーで3人の委員の方にビデオで説明した後、現地見学を行う予定である。

平坦地を前提としたブルーム・パフモデルが如何に適さないかを見て頂くことになる。

なお、同じルートを被申請者(NEXCOと国交省)が12月15日にトレースする予定である。

又、この調停は傍聴が許されないので道路ニュースで今後逐一皆様に報告します。

対外活動報告

- 11/5~6 道路全国連・全国交流会 (於千葉県市川市、7名参加)
- 11/10 栄区区政推進課長と面談(栄区アンケートに関する栄区長への質問書の回答書受領。(会長・事務局長出席)
- 11/10 かながわ大気汚染・道路公害連絡会
- 11/14 第10回大気汚染公害被害者新救済制度 神奈川相談会(神奈川救済懇)
- 11/17 栄区長に「11/10のアンケート問題区長回答書」に対する反論書の提出
- 11/19 おだわら環境志民フォーラム参加(3名)
- 11/21 栄区区民アンケート問題の住民訴訟裁判 第一回公判(横浜地裁、傍聴13名)
- 11/22 提言型政策仕分け傍聴(会長)
- 11/23 第23回統一パレード・集會開催
- 11/23 三村和也衆院議員「日本の未来を語る会」(横浜) 会長参加
- 11/24 高尾山トンネル部分事業認定取消し裁判証人 尋問(WHO騒音ガイドラインと日本の環境基準問題、B・C問題)の傍聴(東京高裁4名参加)
- 11/29 藤沢弁護士事務所訪問(新橋2名)
- 12/03 日弁連シンポ(日比谷1名参加)